１.成人の日行事をモデルとした実験のねらい

■　成人の日行事のあり方に関して、市民意向を把握した上で、市民とともに議論することで、一定の結論を導き出す
■　一連のプロセスの結果や用いた手法の効果を分析し、市民参加の仕組みづくりの検討に生かす

実験のねらい

1.サイレントマジョリティの掘り起こしの検証
普段、市政に意見を言う機会がない方が議論に興味を持ち、参加したくなるような工夫を行い効果を検証する

2.調査手法の検証
アンケート調査に関して、手法ごとの回答率、利用率、利用者の属性、回答内容の差異を検証する

3.市民意識の変化の検証
議論へ参加したことやアンケートを通じて参加者や回答者の意識の変化を検証する

意見・意向調査

２０２４年５月～７月

地域へのヒアリングの実施
・各区の成人式に携わる地域の方から課題や意見を直接聴取

アンケート調査の実施
・１９歳（紙かGoogleフォーム）
・大学生（紙かスマート申請）
・その他（LINEかスマート申請）
※市公式LINE・Ｘ、市公式ＨＰ、さっぽろ広域圏アプリで周知

デザインや周知方法を工夫

議論

２０２４年８月～９月

あり方に関する議論の実施
・若者、成人式に携わる地域の方、行政などがともに議論し一定の結論を導き出すことを目指す

検討経過の周知・広報の実施
・成人式のあり方の検討を通して、市民参加の仕組みづくりの議論のプロセスの透明化と関心を高めることを目指す

議論＋透明化、機運を醸成

結果周知・追加調査

２０２４年１０月以降

議論の結果の周知等の実施
・議論の結果をフィードバックするとともに、さらなる検証のために追加調査を実施

回答内容の変化等を分析